

技術士2次試験に合格して



小田 玲司

(おだ れいじ)

勤務先

株式会社 クマシロシステム設計

計画調査部

〒060-0061 札幌市中央区南1条西18丁目1-9 KSフロンティアビル

TEL 011-632-1010 FAX 011-632-1011

E-mail reiiji@ksfnet.co.jp

■ 専門：建設部門(港湾及び空港)

1. 自己紹介

私は、1979年に生まれ、大学まで札幌で育ちました。2002年に就職を機に上京し、システムエンジニアとして、各種ソフトウェア開発に13年間従事し、特に移動体通信におけるWEBシステムの開発を長くしておりました。国内で約5,000万人が使用するシステム開発にやりがいを感じる一方で、将来は自分が生まれ育った北海道へのUターンを考えていたところ、縁があり、現在の会社に入社しました。入社後は、上司や先輩方の指導を受けながら、北海道開発局や港湾管理者の委託業務で、主に港湾計画や港湾施設整備計画、それに伴う調査を担当させていただきました。また、関係する研究機関へ出向し、より広い視点で北海道全体の港湾に関わる調査研究に携わらせていただきました。この機会を通じて、学識経験者の先生方や行政経験者との人脈形成を図れたことは大変貴重でした。近年は、北海道港湾におけるクルーズ振興に携わらせていただいております。

2. 受験動機

技術士は、「科学技術の応用面に携わる技術者にとって、国内最高峰の国家資格」とされており、近年、行政が発注する業務で割合が増すプロポーザル業務において、評価の向上が期待できる資格であるとのことでした。このため、今後、建設コンサルタントとして周りからの評価の向上やキャリアアップには、必須と考え、資格取得を決意致しました。

3. 技術士試験について

(1) 1次試験

私は「建設部門」での取得を目標と致しましたが、過去問を見た瞬間に全く合格する気がしませんでした。そこで、技術士試験は2次試験受験の際に、必ずしも同じ部門で1次試験に合格している必要は

無いため、1次試験は、前職の経験を活かし「情報工学」で、2度目の受験で合格しました。

(2) 2次試験(筆記試験)

2次試験では技術士に求められるコンピテンシー(資質)が自分に備わっていることをアピールしなければなりません。私は技術的かつ論理的で正しい文章で相手に伝えることが非常に苦手でしたが、克服しなければ「技術士」にはなれません。社内や業界の先輩技術士有志の方々が講師となって月1回の勉強会を開催してくださっており、多くの講師の方々に自分の文章を何度も添削していただきました。悔しくも合格までは4回の受験を要しましたが、この取り組みで培ったスキルは、私のコンサル人生に非常に有益と感じております。

(3) 2次試験(口頭試問)

4年超しの合格に喜ぶのも束の間、早々に「口頭試問」に向けてスタートせざるを得ませんでした。ここでも勉強会の講師や社内の先輩技術士の方々に「模擬面談」を繰り返し、16回にも渡り実施していただき、技術士に求められるコンピテンシー(資質)が自分に備わっていることのアピールの訓練をしていただきました。口頭試問本番は、この「模擬面談」での訓練のおかげで最初こそ緊張しましたが、次第に落ち着いて回答することができ、無事に合格させていただきました。

4. おわりに

今後は、「技術士」であることを自覚し、日々の継続研鑽を怠らず、自分の個性も生かしながら、スキルアップしていきたいと思っております。

最後に、ご指導ご鞭撻くださった方々に深く感謝を申し上げ、今後の技術士合格を目指す方への協力を通じて、恩返しできればと考えております。